

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



“畳の痛み”が気になったら、張り替えのサインでは？ 張り替え時期を知って和室を快適空間へ

洋風スタイルの住宅が当たり前になった現代ですが、一方で、畳敷きの和室の良さには多くの利点があります。

独特の温かみがある畳は素足にやさしいですし、ほどよいクッション性もあることから小さなお子さんやご年配の方にも安心です。

また、畳敷きの和室があれば、いつでもごろんと横になってお昼寝でき、椅子とテーブルの洋室よりも大人数の来客にも対応しやすく便利です。

このようにフレキシブルに使えるのが、畳の部屋の良さといえるでしょう。そんなことから、新たに和室をつくりたいという人も少なくないかもしれませんね。

でも、畳は、他のさまざまな内装材と同様、年数が経てば劣化していくため、定期的なメンテナンスや交換が必要です。いつメンテナンスなどをすればいいのかなど、わかりやす

く説明しましょう。

畳のメンテナンスや交換のことを「畳の張り替え」といいますが、経過年数や劣化の状態によって作業する内容が異なります。畳の部屋を快適に保つためには、専門の業者に依頼して、適切なタイミングで畳の張り替えをすることをおすすめします。

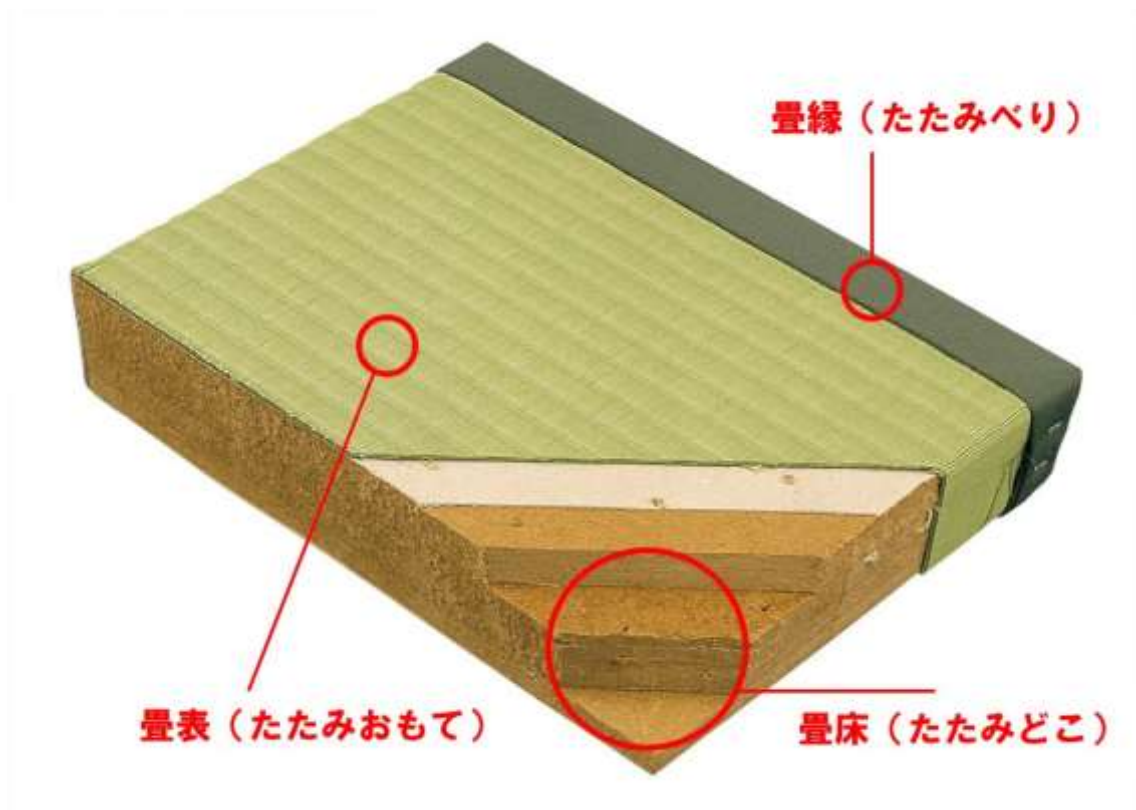
畳の張り替えには、種類とタイミングがある？

畳の張り替えのために、畳の構造を知っておく必要があります。

そこで、まずは、畳の構造について説明しましょう。畳は、畳床（たたみどこ）と呼ばれるボード状の芯にイ草などの繊維で織った畳表（たたみおもて）をかぶせ、長いほうのふちを畳縁（たたみべり）という布を縫いつけてつくられています。

以前は畳床には圧縮した藁が使われていましたが、現代では再生繊維などのボードも用いられます。また、最近では畳縁のない畳も多く見られます。

畳表が私たちの目や体に触れる畳の表面にあたりますが、この畳表が張り替えの重要なポイントになります。



畳の張り替えの種類と時期には、次の3つがあります。

一般的なイ草の畳の場合、つぎのような時期となります。

- ・ **裏返し**：表替えや新調（交換）からおよそ3～4年後に、畳床から畳表をいったんはがし、裏返して張り直します。畳縁も新しいものに交換します。
- ・ **表替え**：裏返しから約3～4年を目安に、畳表を新しいものに交換します。畳床はそのまま継続して使います。
- ・ **新調**：裏返しや表替えを何度か行っても畳床は劣化します。まるごと新しい畳への交換は、新調から15～20年ほどが目安とされています。

こちらで示した張り替え時期はイ草畳の場合の目安ですが、年数以外にも次のような症状が見られたら、畳の張り替え時期と考えられます。

- ・ 畳表が変色してきた
- ・ 畳表がささくれ立ってきた、繊維状のクズが足の裏につく
- ・ 畳表の破れが目につく
- ・ イ草の切れはしが衣類につく
- ・ 畳表に湿り気があり、カビのニオイがする
- ・ 1年以上掃除や手入れをしていない



こうした症状があるにもかかわらず、何もしていないでいると畳表だけでなく畳床まで劣化が進む可能性があります。

そうになると、裏返しや表替えでは済まず、畳のまるごと交換（新調）が必要になり、メンテナンスにかかる費用も大きくなります。

安心・安全なダイケン健やかおもての魅力



床の上に直接座る、ごろ寝するといったくつろぎ方ができるのが日本の伝統的な床材である畳の魅力です。

しかし、適切に乾拭き等の普段のお手入れや裏返し等のメンテナンスができていないと畳表にカビやダニが発生するなど、畳本来の快適さが損なわれますし、健康にもよくありません。

そのため、メンテナンスの時期を逃さないようにしたいものですが、上述のようにイ草の畳では、3～4年程度の間隔で裏返しまたは表替えが必要になります。

畳の張り替えをするには、作業の時間に加え、床の上の家具や荷物を移動させなければいけません。3～4年ごとに、こうしたメンテナンスを行うのは少々面倒というお宅もあるでしょう。

そこで、ご紹介したいのが、和紙（※）でできた DAIKEN の畳表『ダイケン健やかおもて』です。『ダイケン健やかおもて』は、こより状にした和紙を樹脂でコーティングし、織り上げた畳表です。

DAIKEN の独自技術により開発し、イ草畳の風合いを再現しながらも、イ草の約3倍という高い耐久性を持ち、機械すき和紙でできているためカビの発生やダニの増殖はイ草に比べてわずかです。また、イ草畳では実現できなかった豊富なカラー展開も魅力です。

お好みのカラーを選んで張り替えれば、古臭く感じられた和室がこんなにも新鮮な空間へと生まれ変わることでしょう。



『ダイケン健やかおもて』を使った畳の耐用年数はおよそ10年で、イ草畳なら4~5回は必要な張り替えが1回で済むので、非常に耐久性にすぐれ、費用も大きく抑えられます。

DAIKEN なら手間なくスピーディに畳替え可能！



DAIKEN の畳にはすべて『ダイケン健やかおもて』が使われています。「自宅の畳はそろそろ交換の時期かも?」「これから畳の部屋をつくりたい」といった場合は、何かとメリットの多い DAIKEN 畳が、ぜひおすすめです。

DAIKEN では、公式オンラインショップにて畳の張り替えや交換作業のサービスも承っています。表替えの場合ですと朝、畳を引き上げたら当日の夕方には新しい畳を敷き込みます。お客様が仕事から帰って来たときには、おしゃれな和室に生まれ変わっているので

す。

また、古畳の処分や家具の移動も無料、変形サイズや角欠けの畳への対応にも追加費用なしの全部コミの価格なので、安心してご利用いただけます。

畳の張り替えなら、いつでも DAIKEN の公式オンラインショップ『たたみ生活畳通販部』にお問い合わせください。

(※) 機械すき和紙を使用しています。コウゾ・ミツマタ等を使用した手すき和紙ではありません。また、本ページで記載の和紙の畳とは、畳のおもて部分のことを指し、畳床部分まで、全てが和紙製ではありません。

【DAIKEN リフォームマガジン 2020年7月号掲載】